

愛中だより



学校教育目標

「未来を切り拓く心豊かでたくましく生きる力を持った生徒の育成」

学校経営の重点

- 地域・家庭との協働によるインクルーシブな学校づくりを推進します
- 次代を担う人材としての資質向上のための教育実践に日々取り組みます



学校ブログ、
毎日
更新中！！

『光』

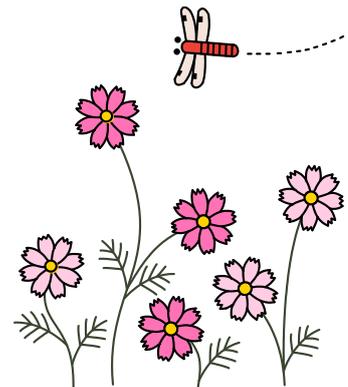
学校長

大泉 哲郎

記録的に早い梅雨明けといわれた今年。しかし6月下旬から7月上旬まで続いた猛暑から一転、中旬以降はぐずついた天気が続く、暑いとはいえ比較的過ごしやすい夏休みでした。関東地方の梅雨明けも7月23日に訂正され、結局平年より5日ほど遅い梅雨明けとなりました。

そんな中、甲子園では今年も熱い戦いが繰り広げられ、東北勢に初めて優勝旗が渡りました。山形出身の私としてもなかなか感慨深いものがありました。3年ぶりに観客が入り、応援も行われ、テレビでひたむきに白球を追う高校生の姿に、観戦して心を揺り動かされた方も多いと思います。

そしてまた、優勝した仙台育英高校の監督のインタビューの時の言葉も、このコロナ禍下、生徒たちの二度と戻らない一期一会の青春の時間を少しでも充実させていこうと四苦八苦している私たちにとって、ものすごく共感できるもので、私も感動してしまいました。お聞きになった方も多いと思いますが、ここでご紹介しておきます。



(インタビュアーの、「今年の3年生は入学した時から新型コロナウイルスの感染に翻弄されてきました。それを乗り越えてのこの優勝、3年生たちにはどんな言葉をかけたいですか？」の問いに対して。)

「(高校の) 入学どころか、おそらく中学校の卒業式もちゃんとできなくて、高校生活はなんというか、僕たち大人が過ごしてきた高校生活と全く違うんですが、青春ってやっぱり密なので、(行事など) そういうことは全部ダメだダメだと言われて、活動していてもどこかでストップがかかって。どこかで止まってしまうような苦しいなかで、本当に諦めないでやってくれた。でもそれをさせてくれたのは僕たちだけじゃなくて、やっぱり全国の高校生のみんなが、本当によくやってくれた。例えば今日の下関国際さんもそうですが、大阪桐蔭さんとか、そういう目標になるチームがあったから、どんな時でも諦めないで、暗い中でも走っていった。本当にすべての高校生の努力の賜物で、ただただ僕たちが最後にここに立ったというだけなので、ぜひ全国の高校生に拍手してもらえたらなと思います」



生徒たちと真剣に向き合い、大変な努力をずっと続けてきた方だからこの言葉の深さや重さがあると思います。本校の生徒たちそれぞれにとって、暗い道の道しるべになる光は何か。そしてそれを一人一人が持てるよう、私たちも取り組んでいかななくてはならない、そんなことも考えました。こんな言葉をかけてもらうことで、情熱や思いを感じ取り、その後の人生の生き方や方向性に大きな影響を受けていく生徒もいます。生徒それぞれが感じたことを大切にしていられる私たち大人でありたいと思います。

各部の活動報告 三年間の活動をふりかえって 各部長から

○野球部 町総体優勝 地区総体 二回戦敗退

主に周りの人と関係を築く大切さを学びました。大変な事もあったが、最後まで頑張れて良かった。

○サッカー部 地区総体 優勝

色々あったけど、楽しくできた。総体では、目標の県は果たせなかったが、厚愛優勝、県央出場までできて良かった。

○バレー部 地区総体 ベスト8

私は人と交流する上で、大切な礼儀やマナーなど日常生活でも必要なことを身につけられた。

○テニス部 町総体（岩崎・近藤組）第3位 地区総体ベスト16

私は、他校との関わりや先輩・後輩と接することで、成長することができました充実した3年間を過ごせました。

○陸上部 地区総体 男子400m 第2位 女子4種競技 第2位

陸上は一部を除き個人種目ですが、この3年間、仲間たちと目標に向かって1つのチームとして、頑張ることができました。

○男子バスケットボール部

僕は、人前に立つ事に慣れてなく大変だったけど、好きなことのために、あれこれ考えることは、とても楽しかった。

○卓球部

後輩の指導は大変だったが、試合等でとても楽しかった。

○吹奏楽部 県央吹奏楽コンクール 銅賞

例年より発表の機会が大幅に減ったが、徐々に増えていき、充実した活動ができました。

○美術部 合同スケッチ大会 優秀1名 奨励2名 中文連展示発表

作品を完成させる達成感や仲間と共同製作の楽しさを学びました。

○PC部 中文連 展示発表

パソコンの知識を学ぶだけかと思っていたが、人との関わりなどもあり、全体的に楽しく活動できました。

